



【令和8年度の主な事業目標】

- 来場者数（西展、メッセ、会議場の3施設合計） 96万人以上
- コンベンション誘致件数（九州規模以上） 250件以上
- 施設稼働率 西展70%以上、メッセ80%以上、会議場90%以上
- 主要4事業の相互連携と広報強化に取り組むと共に、戦略的な事業実施により、北九州市への経済波及効果と都市ブランド向上につなげる

【国際会議開催実績について】

- ・ I C C A（国際会議協会） 2024年認定会議件数 15件 全国第6位
- ・ J N T O（日本政府観光局）2024年認定会議件数 50件 全国第9位

1 貸館営業

【重点営業分野】エンターテインメント・新規顧客の開拓

- エンターテインメント
コンサート、フェスティバル、ゲーム大会、ホビー関連
- 新規顧客の開拓
自動車、文具事務機、建材、食品、衣料・服飾等の新規顧客をターゲットとした営業強化
- その他強化分野
大規模スポーツ大会、資格・入学試験、長期休暇中や平日利用の促進

《令和8年度の開催予定》

- ・ 国内外アーティストのコンサート（メッセ4月・6月・10月）
- ・ ライジングゼファークオカ Bリーグ公式試合（メッセ4月）
- ・ プラレール博 in KITAKYUSHU（西展7月）
- ・ 西日本釣り博2027（メッセ・西展3月）



西日本釣り博2025（前回）



プラレール博 in KITAKYUSHU（前回）

2 MICE誘致

- 「顔の見える」営業を徹底、グローバルレベルでの誘致強化
- 首都圏ネットワークの拡大（「北九州市MICE倶楽部首都圏交流会」）
- JNTO商談会等、国内外MICE関係機関等との連携による誘致推進
- 市内大学との連携による誘致推進（協定締結大学：九工大、九州歯大、北九大、産医大）
- MICE主催者・ローカルホスト（地元大学教授等）等に向けたサポート（北九州MICE開催助成金、会議支援制度、会議運営全般への伴奏型支援等）
- アフターコンベンションやユニークベニューとしての市内施設の活用（近代産業遺産群、小倉城、ミクニワールドスタジアム、旧松本邸、関門圏エクスカージョンコース等）
- 情報発信の強化・PRツールの作成

《令和8年度開催予定の主な会議・大会等【抜粋】》

規模	名称	開催時期	会場	参加者数(人)
国際	国際ソロプチミストアメリカ南日本リジョン第40回リジョン大会	R8年4月	リ-ガロイヤルホテル小倉	600
	ICW (International Conference of Weighing 2026)	R8年6月	北九州国際会議場	450
	IEEE International Conference on Robot & Human interactive Communication	R8年8月	北九州国際会議場	2,500
	日本視覚学会 2026年夏季大会	R8年9月	北九州国際会議場	600
	第59回日本小児内分泌学会各術集会	R8年11月	北九州国際会議場	2,200
	第47回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム	R8年11月	北九州国際会議場	1,200
	第43回プラズマ・核融合学会年会	R8年12月	北九州国際会議場	2,000
	IEEE 総合パワーパッケージング国際ワークショップ	R9年3月	北九州国際会議場	600
国内	第68回全国私立保育研究大会(北九州大会)	R8年5月	北九州芸術劇場	5,400
	第80回九州数学教育会総会並びに九州算数・数学教育研究(北九州)大会	R8年7月	西日本総合展示場 AIM	4,500
	2026年電気学会 電子・情報・システム部門大会	R8年8月	早稲田大学(ひびきの)	3,500
	情報処理学会 第25回情報処科学技術フォーラム (FIT2026)	R8年9月	北九州学術研究都市	9,000
	第36回日本口腔内科学会	R8年9月	北九州国際会議場	1,200
	第13回日本小児診療多職種研究会	R8年9月	北九州国際会議場	1,200
	第63回全国労働災害防止大会	R8年10月	北九州芸術劇場	2,000
	第56回石油・石油化学討論会 (北九州大会)	R8年10月	北九州国際会議場	800
	土木学会 第71回水工学講演会	R8年11月	北九州国際会議場	800
	第22回九州矯正歯科学会学術大会	R9年3月	北九州国際会議場	800



北九州市MICE倶楽部首都圏交流会（R7）



九州オランダ洋上風力セミナー（R7）

3 展示会の実施

- 主催展示会事業 ①「課題解決EXPO」：「半導体」「DX・GX」が重点テーマ
 - ・西日本DX推進フェア→「サイバーセキュリティ」をテーマとした企画を展開
 - ・エコテクノ→次世代エネルギーなどの情報発信
 - ・ふくおか未来ものづくり技術振興展 等→地域の半導体企業の受注機会拡大と販路を開拓のため展示やセミナーを通じて情報発信を行う
 - ・人材不足の解消促進→国・県・市と連携し、高度外国人材の採用機会拡大の場を創出（企業説明会や意見交換会の実施）
 - ・スタートアップ支援の拡大→市と連携し、企業の情報発信と投資・取引の拡大を目指し、展示に加えピッチも併せて実施
- 主催展示会事業 ②「西日本陶磁器フェスタ」：新規窯元・産地の参画促進
- 主催イベント事業（将棋・手づくり品）の企画開催

≪令和8年度主催展示会事業≫

事業名	対象業界	開催時期	目標数
課題解決EXPO	西日本製造技術イノベーション2026	7/8-10	35社
	西日本DX推進フェア2026		60社
	エコテクノ2026		1.8万人
	ベンチャー・メッセ2026		50社
	中小企業テクノフェアin九州2026		10社
ふくおか未来ものづくり技術振興展	九州地域の中小企業 電子・半導体、情報通信・DX関連 等		80社
第48回西日本陶磁器フェスタ	半導体・製造関連産業等		25社
第48回西日本陶磁器フェスタ	陶磁器・関連生活用品全般	9/18-23	5.0万人 245社
合計		7事業	6.8万人 505社



課題解決EXPO2025 (R7)



第47回西日本陶磁器フェスタ (R7)

≪令和8年度主催イベント≫

事業名	開催時期	会場	目標参加者数
第31回北九州将棋フェスティバル	令和8年10月	北九州国際会議場	700人
手づくり市場in北九州2026	令和8年11月	西日本総合展示場	10,000人

4 観光事業

- 観光客誘致・滞在化促進
 - ・個人・団体ツアー客誘致のため、国内外の商談会、展示会に積極的に参加し、旅行会社等に対して情報発信、セールスを実施
- 施設運営
 - ・観光案内所（小倉駅・門司港駅、北九州空港、ジ・アウトレット北九州）の運営
 - ・売店「北九州おみやげ館」「TOTOMミュージアムショップ」の運営
 - ・イベント、学会、大会等参加者向けのお土産サイトを新たに立ち上げ、運営
 - ・JR小倉駅JAM広場、JAMビジョンの運営
- 人材育成
 - ・観光案内ボランティアの新規養成、育成、スキル向上
（登録ボランティア数：115名（令和7年4月1日現在））
- 旅行事業（屋号：MARQERS KITAKYUSHU）
 - (1) 国内
 - ・市内大学等の新入生を対象にして、北九州市の隠れた名所や施設のバックヤードなどを巡る特別な体験が出来るツアーを実施（市事業）
 - ・北九州市や観光関連施設と連携し「ふるさと納税」における体験型ツアー商品（「企救焼陶芸体験」「角打ち・スナック体験」など）の造成・販売
 - ・北九州市の観光情報を網羅したデジタルマップを新たに作成し、観光客への利便に寄与するほか、事業分析・効果検証などに活用する
 - (2) インバウンド
 - ・インバウンドの誘客を図る為、北九州市域の観光情報を掲載した英語版マップ「NOW MAP KITAKYUSHU2026」を新たに作成
 - ・北九州市・ギラヴァンツ北九州と提携し「東アジアユースU12サッカー大会」参加者（滞在期間8/5～13、人数60名）に対し、市内観光ツアーや地元サッカーチームとの交流を予定
 - (3) 事業連携強化
 - ・課題解決EXPOや、誘致した国際会議や学会の参加者に対し、市内先進企業や観光地を巡るツアーや、アフターコンベンションツアーの提供



旧小倉市制125周年、北九州モノレール開業40周年記念スペシャルツアー (R7)



台湾中学生サッカーキャンプ (R7)



エコテクノツアー (R7)